

医療用機器の製造も

培った技術を他分野に

腕時計の組み立てに始まり、手作業の省力化で培った

技術を他分野に生かしている。腕時計の組み立てを始め、大館市の比内時計工業・比内工場（林厚社長、本社・東京）は全体の2割程度となった。「変化が早いグローバルな時代だからこそ、顧客の要求に応える」と確かな製品づくりに日々取り組んでいる。

腕時計製造業として創業した林時計工作所（現ハヤシレピック）の子会社として1974年に設立。翌年に独立助照明などの設計・製造を手

掛けており、高い技術力で各企業から信頼を得ている。

2002年には医療機器の製造許可を取得。小さくて精度の高い温度管理が必要な医療用冷蔵庫に使われている「ペルチエ式クーラー」を製造・販売。さらに、小さい部品をいかに組み上げるかという得意分野を広げられないか、常に模索している。

畠山享工場長は「皆さんには分かりにくいだろうが、私たちはさまざまな製品をつくられている。私たちの物づくりに共感できる人はきてほしい」と話した。

.....
ペルチエ式クーラーの製造現場（大館市の比内時計工業・比内工場）



比内時計工業（大館市）